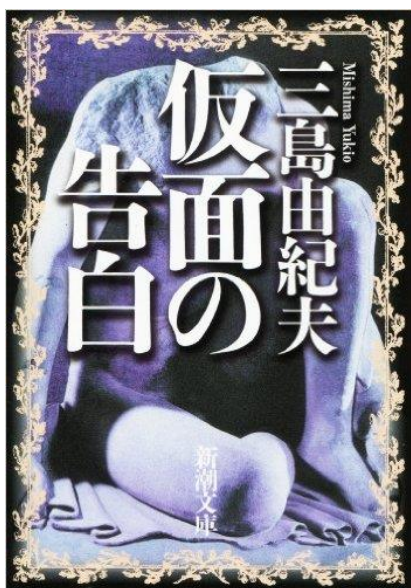


三島由紀夫『仮面の告白』を読む



誕生の光景を見たことがあると言い張っていた「私」。私を思い悩ます最初の記憶は5歳の頃、肥桶をかつぐ血色のよい若者を見て、ある力の最初の啓示、ある暗い不思議な呼び声が私に呼びかけたことだった。

三島由紀夫 24歳の時の書き下ろし長編小説。才気豊かな表現力で作家として高い評価を得るとともに、戦後日本文学を代表する作品。

と き 平成29年4月23日（日）13時30分～15時

場 所 図書館 3階 会議室

座 長 作家 重田 昇先生（四街道市在住）

後援 四街道稲門会

申し込み 図書館1階・一般室 ※先着15名

蔵書5冊。また、千葉県立図書館の読書会用図書「十冊文庫」を4月上旬より貸出いたします。

（十冊文庫は先着10名、一般室にて予約受付）

問合せ 四街道市立図書館 Tel.423-6443

読書会で深めませんか
読書の楽しさと表現力



四街道市立図書館の読書会

当館の読書会は、同じ一冊の本を事前に読んでいただき、読後の感想を交換し合うものです。必ず、テキストである「仮面の告白」三島由紀夫（著）を読んで、ご参加ください。

○所蔵しています

「仮面の告白」 新潮文庫版 B913.6 ミシ

三島由紀夫全集 第1巻 新潮社 918.6 ミ

現代日本文学大系 85巻 筑摩書房 913.6 ゲ

新潮社版（十冊文庫）1967 県立図書館から取り寄せます

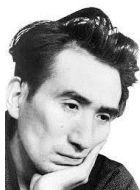
※十冊文庫とは、読書会の利用のために同じ本を10冊揃えた千葉県立図書館の蔵書です。当館を通して貸出ができます。

普段、読書は一人で楽しむ場合が多いものですが、感じたことを他の人に伝えることもまた、楽しいものです。

感想を改めて言葉にして、他の人に伝える経験、自分とは違う解釈にふれることは、きっと新鮮な魅力や驚きがあり、読む楽しさを深めてくれるものと思います。



読書会の舵取り役として、知識・経験豊富な座長がいる読書会です。初めての方も気軽に、安心してご参加ください。



文学に造詣の深い作家を座長に迎え、作品の背景や同時代を生きた太宰治との関係など、興味深い逸話をまじえながら、解釈のポイントを学べます。楽しみながら、読後の感想を分かち合いましょう。

○座長のおすすめ 併せて読んでみてください



「太陽と鉄」 中公文庫 他

肉体、精神、生と死等めぐる自伝的随筆。三島由紀夫の文学と人生を読み解くうえで重要な作品です。

読書会は、複数で読書の楽しみを分かち合いながら深めていく
コミュニケーションの場です。



当館の読書会をとおして、和やかな読書の輪が広がることを
願っています。



◆座長紹介

重田 昇（しげた のぼる）

昭和22年、徳島県生まれ。
早稲田大学在学中より創作活動を始め、
「早稲田文学」等に作品を発表。
昭和47年、長編小説「風の貌」を三交社より出版。



◆四街道市立図書館所蔵作品

書名	出版者	請求記号
○△□	情報センター出版局	913.6 シゲ
死の種子	情報センター出版局	913.6 シゲ
歩いて、笑って、考える	図書新聞	914.6 シ

◆座長からのひとことアドバイス



話すことに慣れていない場合は、
あらかじめ感想のポイントを
メモにまとめておくのもよい手だてです。

